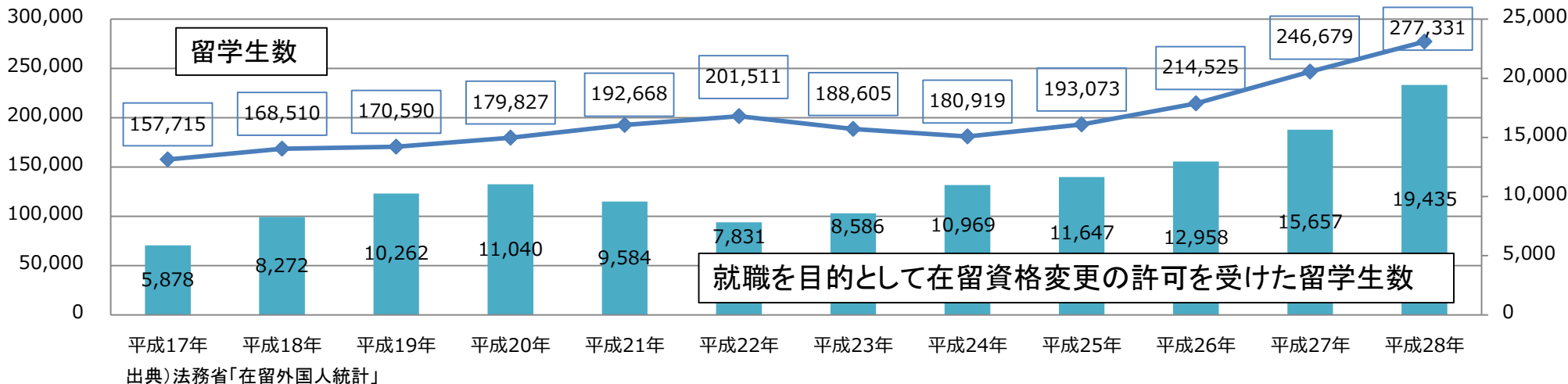


外国人留学生の就職支援 について

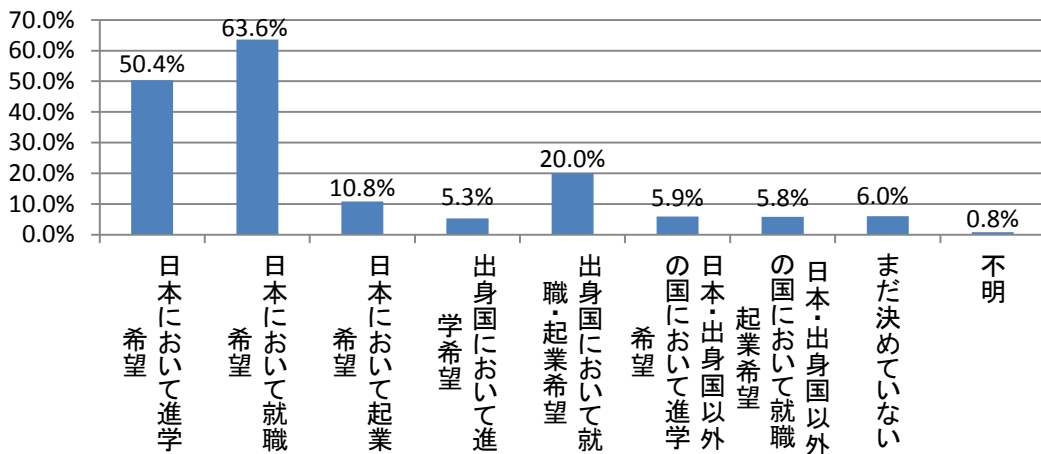
平成30年10月
厚生労働省職業安定局
外国人雇用対策課

外国人留学生数の推移及び就職活動における課題

平成28年末現在の留学生の総数は27万7,331人(平成17年末現在から約1.8倍に増加)。留学生の就職も以前より増加(平成17年:約5,878人→平成28年:約19,435人で約3.3倍)。一方で、日本での就職を希望する留学生が全体の6割程度いるなかで、実際に就職できている者が3割程度であり、企業側と留学生双方の情報不足等によるミスマッチが指摘されている。



留学生卒業後の進路希望(複数回答あり)



**卒業(修了)
留学生※
46,559人**

↓

日本で就職: 14,493人(31.1%)

※平成28年度中に卒業(修了)した外国人留学生

留学生の就労促進に係る主な施策

「外国人雇用サービスセンター」（外国人版ハローワーク：東京・愛知・大阪）を、留学生を含む高度外国人材の就職支援の拠点と位置付け、ハローワークの全国ネットを活用し、意識啓発からマッチング・定着に至るまで、各段階で多様な支援メニューを提供するとともに、一部の新卒応援ハローワークに留学生コーナー（※）を設置するなど、留学生への就職支援を強化。

※留学生コーナー設置箇所（平成30年4月1日現在）北海道、宮城、埼玉、千葉（千葉、松戸）、東京、神奈川、石川、静岡、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、長崎（18箇所）※下線は平成30年度新規設置

1. 全国的ネットワークによるマッチングの促進

外国人雇用サービスセンターは、求人・求職を集約した上で、全国のハローワークや新卒応援ハローワークとの連携により、卒業に至るまで複数年にわたり、全国的かつきめ細かな就職支援を実施

外セン等の求職、相談の状況（平成29年度）

新規求職者数	・・・	12,173件
相談件数	・・・	31,417件
就職件数	・・・	2,042件

2. 意識啓発・カウンセリング等

大学の就職担当者等を訪問し、未内定留学生の把握や外国人雇用サービスセンターの利用勧奨を行うほか、国内就職希望の留学生に対し、在籍の早い段階から就職ガイダンスを実施するなど、留学生の意識・動機付けに向けて連携

外セン等におけるガイダンス等の実施状況（平成29年度）

ガイダンス参加学生数	・・・	9,211名
面接会参加学生数	・・・	5,238名

3. 留学生インターンシップ・大学との連携

企業と留学生の相互理解の促進を通じ、国内就職市場の拡大を図るため、留学生向けインターンシップを実施。また、大学の就職支援担当者との情報交換を実施（インターンシップは夏季と春季に実施）

インターンシップ受入実施企業数（平成29年度） 115社
インターンシップ参加学生数（平成29年度） 240名

4. 外国人留学生を採用する企業等に対する支援

留学生を採用する企業の開拓に加えて、外国人雇用管理アドバイザーによる採用時（在留資格変更手続きを含む）や人事労務管理上の留意点に関する相談など、外国人留学生を採用する企業等に対する各種相談業務を実施

雇用管理アドバイザーによる相談実績（平成29年度）

事業所訪問による相談	・・・	92事業所
外国人雇用サービスセンターでの相談	・・・	654事業所

未来投資戦略2018（平成30年6月15日閣議決定）（一部抜粋）

留学生と企業とのマッチングの機会を設けるため、ハローワークの外国人雇用サービスセンター等の増設により、留学生と企業とのマッチングを推進する。